

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【公表番号】特表2005-532045(P2005-532045A)

【公表日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2005-042

【出願番号】特願2004-501558(P2004-501558)

【国際特許分類】

|         |        |           |
|---------|--------|-----------|
| C 1 2 N | 15/09  | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/395 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 7/02   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 9/10   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 29/00  | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/04  | (2006.01) |
| A 6 1 P | 35/00  | (2006.01) |
| A 6 1 P | 37/06  | (2006.01) |
| C 0 7 K | 16/36  | (2006.01) |
| C 1 2 P | 21/08  | (2006.01) |

【F I】

|         |        |         |
|---------|--------|---------|
| C 1 2 N | 15/00  | Z N A A |
| A 6 1 K | 39/395 | D       |
| A 6 1 K | 39/395 | P       |
| A 6 1 P | 7/02   |         |
| A 6 1 P | 9/10   |         |
| A 6 1 P | 29/00  |         |
| A 6 1 P | 31/04  |         |
| A 6 1 P | 35/00  |         |
| A 6 1 P | 37/06  |         |
| C 0 7 K | 16/36  |         |
| C 1 2 P | 21/08  |         |

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月28日(2006.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組織因子(TF)単独に対してよりも第VIIa因子/組織因子(FVIIa/TF)に対して、より高い親和性を持って結合する抗凝固剤抗体。

【請求項2】

前記抗体が、マイクロ熱量測定アッセイにより測定される場合、TF単独に対してよりもFVIIa/TF複合体に対して、少なくとも2倍高い親和性を持って結合する請求項1記載の抗体。

【請求項3】

前記抗体が、TF単独に対してよりもFVIIa/TF複合体に対して、少なくとも5倍高い親和性を持って結合する請求項2記載の抗体。

**【請求項 4】**

前記抗体が、TF単独に対してよりもFVII a/TF複合体に対して、少なくとも10倍高い親和性を持って結合する請求項3記載の抗体。

**【請求項 5】**

前記抗体がモノクローナル抗体である請求項1記載の抗体。

**【請求項 6】**

前記抗体が、一本鎖抗体、Fabダイマー抗体又はIgG抗体である請求項5記載の抗体。

**【請求項 7】**

前記抗体が、一本鎖抗体である請求項6記載の抗体。

**【請求項 8】**

前記抗体が、第VII因子(FVII)、第IX因子(FIX)及び第X因子(FX)から成る群から選択された1又は複数の凝固因子と、TFに結合するために競争しない請求項7記載の抗体。

**【請求項 9】**

前記凝固因子がFVII及びFXである請求項8記載の抗体。

**【請求項 10】**

前記抗体がグリコシル化される請求項1記載の抗体。

**【請求項 11】**

前記抗体が、ポリエチレングリコールの添加により修飾される請求項1記載の抗体。

**【請求項 12】**

前記抗体が、ストレプタビジンを結合するためにピオチニル化される請求項1記載の抗体。

**【請求項 13】**

治療的有効量の請求項1記載の抗体及び医薬的に許容できる賦形剤を含んで成る医薬組成物。

**【請求項 14】**

他の凝固パラメーター、例えば血小板の活性化及び凝固に直接的に影響を及ぼさないで、トロンビンの生成を阻害する、請求項1記載抗体を含んでなる、血栓形成に対する保護のための医薬組成物。

**【請求項 15】**

虚血性発作、血管形成に続く血栓合併症、又は微小血管手術における血栓形成に対して保護する、請求項14記載の医薬組成物。

**【請求項 16】**

請求項1記載の抗体を含んでなる、深静脈血栓症(DVT)、散在性血管内凝固(DIC)、急性冠状症候群、又は患者における凝固障害の現象を伴っての癌を予防し、又は治療するための医薬組成物。

**【請求項 17】**

請求項1記載の抗体を含んで成る、前記患者における炎症性応答を調節するための医薬組成物。

**【請求項 18】**

前記炎症性応答が、敗血症、皮膚及び静脈移植片、及び器官移植片から成る群から選択される請求項17記載の医薬組成物。

**【請求項 19】**

前記抗体が、血液と接触する医学用装置の表面上に非トロンボゲン性被膜を形成するために使用され得る請求項1記載の抗体。

**【請求項 20】**

請求項1記載の抗体を含んで成るキット。

**【請求項 21】**

請求項1記載の抗体をコードするDNA配列を含んで成るキット。

**【請求項 22】**

配列番号 1 又は 3 のアミノ酸配列から成る抗体をコードする、配列番号 2 又は 4 のポリヌクレオチド配列を、治療的有効量の遺伝子療法ベクターと共に含んで成る遺伝子療法を組成物。

【請求項 2 3】

TF単独に対してよりもFVII a/TF複合体に対して、より高い親和性を持って結合する一本鎖抗体であり、そしてTFへの結合のためにFVII 及びFXと競争しない抗凝固抗体。

【請求項 2 4】

前記抗体が配列番号 1 又は 3 のアミノ酸配列を含んで成る請求項23記載の抗体。

【請求項 2 5】

配列番号 2 又は 9 の核酸配列を含んでなる、請求項23記載の抗体をコードするポリヌクレオチド配列。